

## オハイオ州 フィンドレー大学 奨学生レポート 9月

### 「交流」

9月は、上田清司知事のフィンドレー大学来校と共に始まりました。知事はフィンドレー大学に1日滞在され、学生やフィンドレー市民と交流されました。上田知事は埼玉県に関する講演をされ、フィンドレー大学の学生は、それぞれ行っているボランティアを紹介したり、日本に留学した際の思い出についてスピーチをしたりしました。また、フィンドレー市内の学校の教師の方々は、埼玉県の学校に訪問された際のエピソードを話されました。その際、特に私の印象に残った話を二つ紹介したいと思います。

まず一つ目は、フィンドレーで教師をされている方が日本の小学校を訪問された時のお話です。その先生は日本の小学校では子どもたちが自分たちで掃除をすることについて感心していらっしゃいました。この点は日本の学校特有のことのようですが、私はとても大切にすべき日本の教育制度だと思いました。アメリカ人の視点から見た話を聞き、改めて日本の良さを感じることが出来ました。

二つ目は、私のハウスメイトで、日本語専攻の学生が上田知事の前で行った、日本語のスピーチです。彼女は去年一年間、埼玉県の大学に留学しており、その時の思い出について話してくれました。彼女は留学中、買い物に行く途中でたまたま一人のおばあさんと出会い少し話をしたそうです。その後、そのおばあさんと別れて、買い物をし、帰ろうとすると雨が降り出したそうです。彼女は傘を持っていなかったので困っていると、そのおばあさんが傘を持って現れ、彼女の住む寮まで送ってくれたそうです。彼女はさっき会ったばかりなのにどうしてこんなにも親切にしてくれるのか不思議に思ったそうですが、とても良い思い出になったそうです。私はこの話を聞いて、このおばあさんのような心の暖かい方が埼玉県にいらっしゃることを嬉しく思うと共に、私もこのおばあさんのように優しい人になりたいと思いました。

フィンドレーと埼玉県はこのようにいろいろな交流をし、発表の場をもうけ

ながら、良い刺激を受けあっているのだと感じました。私もこの交流に少しでも貢献できるよう頑張りたいと思いました。



上田知事訪問の際に植樹式が行われました。

